



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年1月30日

上場会社名 アイエックス・ナレッジ株式会社
 コード番号 9753 URL <https://www.ikic.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 安藤 文男
 (氏名) 石井 嘉範
 TEL 03-6400-7000

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	12,258	3.8	457	36.7	499	36.3	335	43.9
29年3月期第3四半期	12,741	1.7	334	10.7	366	11.6	233	16.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	32.82	
29年3月期第3四半期	22.05	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,854		4,221			47.7
29年3月期	8,694		4,040			46.5

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 4,221百万円 29年3月期 4,040百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		10.00	10.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,462	4.9	601	1.3	644	1.8	427	4.7	41.78

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	11,200,000 株	29年3月期	11,800,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	1,086,231 株	29年3月期	1,413,640 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	10,222,747 株	29年3月期3Q	10,576,868 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

情報サービス市場におきましては、クラウドコンピューティング、ビッグデータ、IoT、AIなどの技術を活用した「攻めのIT」投資が、今後さらに拡大していくと予想されます。

このような状況において当社は、中期経営方針（IKI VISION 2020）を策定し、「しっかりとしたモノ（システム）づくりと高品質なサービスの提供」により、「すべてのステークホルダーから選ばれる企業」をビジョンとして掲げ、中核事業の拡大や事業基盤の強化、さらには次期成長事業の創出に努めてまいりました。具体的には、自動車産業における車載組込みシステム開発分野への取り組みに加え、新規事業の育成に向けたブロックチェーン技術の調査研究や大手S I e rによるAI関連の研究開発案件への参画などを進めてまいりました。

当期間での動向を品目別に見ますと、コンサルティング及びシステム・インテグレーション・サービスでは、大手通信事業者向けのシステム検証案件および次期成長事業と位置付ける車載システム案件を着実に受注に結び付けることができました。しかしながら、社会公共分野での開発案件の縮小や、メガバンク向け次期システム開発案件の想定を上回る急激な収束などをカバーするには至らず、売上高は前期と比べてやや減少となりました。また、システムマネジメントサービスにおいては、金融および産業分野で受注が伸び、売上高がやや増加いたしました。

一方で、残業の削減や販管・間接業務の効率化、さらには低収益案件の整理などの事業基盤の強化に取り組んだことにより、利益は増加いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高が12,258百万円（前年同期比3.8%減）、利益面では営業利益457百万円（前年同期比36.7%増）、経常利益499百万円（前年同期比36.3%増）、四半期純利益につきましては335百万円（前年同期比43.9%増）を計上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は8,854百万円となり、前事業年度末に比べ159百万円増加しました。これは主に「仕掛品」の増加112百万円、「受取手形及び売掛金」の減少107百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は4,632百万円となり、前事業年度末に比べ20百万円減少しました。これは主に「賞与引当金」の減少419百万円、「長期借入金」の増加115百万円、「未払金」の増加113百万円、「その他」に含まれる「預り金」の増加157百万円、同じく「その他」に含まれる「未払費用」の増加118百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は4,221百万円となり、前事業年度末に比べ180百万円増加しました。これは主に「利益剰余金」の増加231百万円、「資本剰余金」の減少191百万円、「自己株式」の減少89百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の46.5%から47.7%となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の業績予想につきましては、平成29年5月1日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成30年1月30日）別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,510,992	3,570,184
受取手形及び売掛金	2,383,519	2,276,162
商品及び製品	-	15,605
仕掛品	212,122	324,178
繰延税金資産	319,882	319,882
その他	180,701	222,270
流動資産合計	6,607,219	6,728,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	102,306	96,344
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	43,258	31,844
土地	116,992	116,992
リース資産(純額)	4,427	1,937
有形固定資産合計	266,985	247,117
無形固定資産		
ソフトウェア	36,620	28,360
その他	8,689	8,689
無形固定資産合計	45,309	37,050
投資その他の資産		
投資有価証券	863,180	936,016
繰延税金資産	626,401	603,906
その他	285,057	301,748
投資その他の資産合計	1,774,638	1,841,671
固定資産合計	2,086,934	2,125,839
資産合計	8,694,153	8,854,124

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	545,619	498,134
1年内返済予定の長期借入金	60,000	100,000
未払金	282,520	396,010
リース債務	3,373	1,977
未払法人税等	130,981	119,504
賞与引当金	849,062	429,394
受注損失引当金	20,521	4,383
その他	213,386	456,933
流動負債合計	2,105,464	2,006,338
固定負債		
長期借入金	105,000	220,000
リース債務	1,131	-
退職給付引当金	2,299,071	2,306,624
資産除去債務	63,481	63,524
長期末払金	79,195	36,200
固定負債合計	2,547,879	2,626,348
負債合計	4,653,344	4,632,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,897	1,180,897
資本剰余金	1,482,919	1,291,045
利益剰余金	1,606,069	1,837,674
自己株式	△437,363	△347,435
株主資本合計	3,832,523	3,962,181
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	208,286	259,255
評価・換算差額等合計	208,286	259,255
純資産合計	4,040,809	4,221,436
負債純資産合計	8,694,153	8,854,124

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	12,741,446	12,258,173
売上原価	10,701,137	10,243,868
売上総利益	2,040,309	2,014,305
販売費及び一般管理費	1,705,370	1,556,538
営業利益	334,939	457,767
営業外収益		
受取配当金	31,313	32,146
投資事業組合運用益	-	5,952
その他	4,963	5,974
営業外収益合計	36,276	44,074
営業外費用		
支払利息	1,438	1,020
投資事業組合運用損	1,039	-
為替差損	1,196	-
支払手数料	730	948
雑損失	81	60
営業外費用合計	4,485	2,030
経常利益	366,729	499,810
特別利益		
投資有価証券売却益	55	-
会員権売却益	50	-
特別利益合計	105	-
特別損失		
会員権評価損	6,956	-
固定資産廃棄損	106	0
特別損失合計	7,062	0
税引前四半期純利益	359,772	499,810
法人税等	126,594	164,341
四半期純利益	233,178	335,468

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の消却

当社は、平成29年11月16日開催の取締役会決議に基づき、平成29年12月8日付で、自己株式600,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ191,874千円減少しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。